

閉校施設の利活用に向けた サウンディング型市場調査の実施結果概要について

旧塩谷中学校、旧末広中学校、旧北山中学校施設の利活用案の作成に向けた「サウンディング型市場調査」につきましては、令和元年7月から実施し、令和2年3月末まで実施期間を延長していたところです。

その結果につきまして、概要を公表します。

1 調査対象

旧塩谷中学校、旧末広中学校、旧北山中学校の土地及び建物

2 利活用の基本的な考え方

- 地域の発展や本市のまちづくりに寄与すると考えられる事業であること。
- 原則として、現在の都市計画で定められている用途地域において認められている用途であること。
- 既存の建物を活用する場合は、耐震性能を確保すること。また、耐震化や改修、解体に要する費用は事業者負担であること。

3 実施経過

令和元年7月16日 調査実施の公表・エントリー受付開始

9月20日 エントリー受付終了(1回目)

参加事業者がなかったため、令和2年3月31日まで調査を継続

令和2年3月23日 提案者Aが調査参加 (エントリーシート及び調査票提出)

3月30日 提案者Bが調査参加 (エントリーシート提出)

3月31日 調査期間終了

4 提案概要および対応状況

提案者A	
対象施設	旧塩谷中・旧末広中・旧北山中
提案の内容	魚介類の養殖施設
【対応状況】 提案内容を確認していく中で、取り下げがあった。	

提案者B	
対象施設	旧末広中
提案の内容	高齢者住宅等福祉施設
【対応状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査期間終了後の4月24日に調査票を提出。 ・ これから法人化を予定しており、実施要領における参加対象者に該当していないが、対話の継続を希望している。 	

5 まとめ

本サウンディング型市場調査の実施結果は、参加希望(エントリー)が2件あったものの、調査期間中に、本調査の実施要領に該当する提案をする事業者はなく、具体的な提案には至りませんでした。しかし、調査期間を延長したことにより民間事業者からの反応があり、民間活用の可能性があることが分かりました。

本調査をもって直ちに学校跡利用の方向性を決める段階には至りませんでした。が、利活用についての可能性が示されており、対話を継続するとともに、庁内における「学校再編に伴う跡利用検討委員会」において、提案内容等を参考に閉校施設の活用の検討を進めて参ります。